

あしきた町議会だより

うたせ

第18号

平成21年
7月28日発行

発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報特別委員会 TEL(0966)82-2511 FAX(0966)82-2894



7月12日

ビーチバレーインくまもと Ashikita 2009
(鶴ヶ浜海水浴場)



- 6月定例会…………… P 2
- 第3回臨時議会…………… P 2
- 一般質問…………… P 3～P 6
- 議員視察研修報告…………… P 7
- 議会のうごき…………… P 8

一般質問

芦北町公衆浴場 無料入浴券について



白坂康浩議員

利用者数アップのための
取り組みは

質

芦北町総合計画の中で、基本目標の「人にやさしい快適なまちづくり」、「元気で暮らせるまちづくり」の推進で、健康づくり活動の充実の項目で、老人の公衆浴場無料入浴券について、現在70歳以上の方に年間70枚を無料配布しているが実際に券を利用している方が平成20年度実績書を見ると5625人に対して2254人で、交付率は40・07%となっている。この現状を踏まえて、現在の利用状況と交付率向上のため、また利用者数アップのために、町としての取り組みがあるか。

答 町長

老人会の方からも、このような無料入浴券でなく、割引券制度にしたかどうかという提案もあっている。今後は、



年間70枚交付される無料入浴券

議会の提案等も合わせてより良い方向に持っていけたらと考えている。これからは、団塊世代が対象になれば増加することも考えられる。いずれにしても、時代の推移を見ながら、多くの方々の意見を聞きながらより良い方向に持っていきたい。

答 福祉課長

現在のところ、高齢者、障害者等の健康増進、憩いの場の提供という福祉向上を目的としており、他とのタイアップは考えていない。

質

御立岬温泉センターは、福祉バスを利用して搬送されているが、なぜ、御立岬温泉センターだけなのか。他の施設等に対して福祉バスを利用する考えはないか。また、温泉券を他に利用、活用できないか。

答 福祉課長

田浦地区は、御立岬温泉センターだけで、競合の問題はない。芦北地区には沢山の温泉施設が存在し、民間の施設もある。バスの増車も考えられると財政的な問題や道路運送法等も考えていかなければならない。

温泉券の利用については、介護タクシーなど福祉関係の多種多様に使用可能な福祉券という考えもあるが、問題も数多く、進展するまで至っていない。



御立岬温泉センター

6月定例議会は、6月16日に招集され、17日までの2日間の会期で開催した。
上程されたのは、報告3件、平成21年度一般会計補正予算ほか特別会計補正予算1件、条例の一部改正2件、町道の路線認定1件と、人事関係で副町長の選任同意ならびに人権擁護委員の選任についての諮問1件で、いずれも慎重審議の結果、原案通り可決した。
また、一般質問には4議員が登壇し、執行部の考えをた



6月定例議会

一般会計補正予算 3,500万円追加補正を可決

会計名	補正額（増減）	補正後の総額
一般会計	3,500万円 増	94億8,455万円
老人保健	900万円 増	1,600万円

● 補正予算の主な内容（一般会計）

佐敷駅跨線橋改修設計委託料	464万円
小・中学校図書購入費	302万円
作業路吉尾線修繕工事	375万円
豊かな体験活動推進事業補助金	131万円



藤崎 正司氏

副町長に
藤崎 正司氏

【プロフィール】

昭和52年1月、旧田浦町職員として採用され、平成9年4月から議会事務局長、総務課長、町民課長、企画観光課長、農林水産課長を歴任。合併後の新町においても企画財政課長として尽力された。



山本ふじ子氏
(田浦町地区)

人権擁護委員

【プロフィール】

平成15年10月から法務大臣に人権擁護委員として委嘱され、今回三期目となる。



JR佐敷駅より総合グラウンドを望む



ボイラー修繕工事が完了した大野温泉センター

第3回
臨時議会

平成21年第3回臨時議会を5月26日に開催した。
上程された議案は、平成20年度一般会計補正予算ならびに平成21年度一般会計補正予算、専決処分承認5件と、芦北町一般職員、町長、教育長、議会議員の給与及び報酬等を減額する条例の一部改正4件で、いずれも慎重審議の結果、専決処分された5件を承認し、4件の議案について、も全会一致で原案通り可決した。

一般質問

- ◎生涯学習センター等の利用の奨励について
- ◎普通財産の資産評価とその有効活用について
- ◎湯浦温泉センター公金着服事件にかかる対応について



川尻成美議員

生涯学習センター等の有効利用を奨励しては

質 学校統廃合により、旧校舎・体育館を生涯学習センター等の施設として設置している。その利活用の状況と更なる有効利用を指導奨励してはどうか。

答 教育長

利用状況は、大尼田地区生涯学習センター他8施設で、年間延べ328日、8、496人が利用している。指導奨励については、地区住民主体による生涯学習センター並びに体育施設の利活用を図り、今後学習センター運営委員会に対し、指導助言を行なっていく。

休眠中の資産をどう活用するか

質 町有財産である土地・建物の評価額はそれぞれいくらかしていないなら資産計算すべきではないか。特に利用価値



大尼田地区生涯学習センター

公金の取り扱いをどうチェックするか

質 去る6月4日、町有湯浦温泉センター公金着服事件が発覚した昨年5月から今年5月までの1年間に亘る入浴料や温泉運用基金の一部を合わせて、163万円を着服したことが定期監査で発見された。毎月の例月現金出納検査で見出来なかったものか。

答 山下代表監査委員

各課が会計室に納入した時点で調定が切られる。出先については、金融機関に納めた時点で調定が切られる。会計室では、その調定書を基に調査をするので、不正があったかどうかはその現場でないとわからない。

質

定期監査は、年一回以上と定められているが数回行う事は出来ないか。また、法律により「定期監査の結果に関する報告」(法第199条第9

答 総務課長

再発防止に向け、不正が発覚した当該課に対しては、タイムスケジュールを明確にし、チェックシートによるチェック体制の強化を指示した。また、全課に対し、明細がわかる資料をレシート・日計表・管理簿等の写し等を添付するよう指示した。

答 山下代表監査委員 議長・町長には既に報告をした。

項)を議会に報告するとあるので、そうすべきではないか。町長は「町民に心より詫言びする。チェック態勢を強化し、再発防止に努める」とコメントした。具体的にチェック態勢をどのように強化するよう指示したのか。

一般質問

芦北町営住宅の管理状況について



宮尾秀行議員

町が負担して行った修理・改善工事は

質 生きて行くためには衣食住が不可欠である。その中で「住」の部分において自治体は以前から大変努力していると思う。中でも格安の使用料で入居出来る町営住宅は、多くの町民の生活を支援し、更に天災、火災などに被災された方々には、一時的な仮住まいとして生活の安定と福祉の向上に貢献している。今後財政も厳しくなると思うが、整備維持に努めてほしい。そこで、費用を町が全て負担して行った修理、改善工事の最近の主なものは何か。

答 町長

20年度内において、団地内通路の舗装、フェンスの改修、老朽棟の解体、火災報知器の設置、トイレの水洗化、外壁、屋根改修等の工事を

行っている。

20年度の修繕工事等総額は、1億1103万7000円余りである。

質

持ち家のある人が入居してはいないか。

答 町長

持ち家がある人の入居については、現在のところ確認されていない。

質

届出がなく長期間不在の家はないか。

答 町長

長期入院等の理由がある人を除くと、届出がなく長期不在の世帯は3世帯であると報告を受けている。

質

次の入居を待つ人や災害時

の緊急入居の時など困ると思う。又各地で孤独死などの事件も起きている。再度点検する必要があると思うが、どう考えているか。

答 建設課長

長期不在の3世帯に関しましては、親戚等が判明しており、今後、退去届をきちんとした形で出して、待機されている方々への住宅の提供を図っていきたい。

質

現条例では、増築後に明け渡す時、現状回復を義務付けてあるが、入居者が死亡し、家族、子供も無い時、事実上無理だと考える。その反面、若い夫婦は子供の成長と共に増築したい気持ちも十分理解出来る。貸主借主双方の利益を考えた時、行政財産使用料条例に鑑み、面積分の土地の使用料を家賃に上乗せする条

件が出来れば、入居者も大きな負担が減ると思うが、どう考えているか。

答 建設課長

公営住宅法では、第27条において、公営住宅の模様替えや増築を、原則禁じられているが、他の自治体の事例等も聞き合わせた上で検討案件にさせていただきたい。



洲崎団地

議員視察研修

5月27日～5月29日

まず佐野市では「行政評価の取り組みについて」を研修しました。当市は、平成15年から行政評価制度を導入しており、冒頭、武井行政経営課長より、今年で7年目を迎えるが、一定の評価はあるものの、現場ではいまだ懐疑的な意見もあり、全ての職員に意識改革が浸透したわけではなく、評価方法の改善も随時進めているが課題も残されているとの話がありました。

まず、行政評価の構築の背景として、旧佐野市におけるゴミ問題の発生及び総合計画と予算の連動がなされていないことに端を発したとのことでした。

また①行政資源の有効活用、②成果志向による行政経営、③説明責任の向上、④職員の意識改革・能力開発の推進の4点を目的としています。

評価活動の内容として、施策体系の基づいて、施策評価・基本事業評価・事務事業評価を行い、どの施策を重点的に行うのかという相対評価である貢献度・優先評価等を行

行政評価の取り組みについて

栃木県佐野市

ついで、予算編成への反映として、平成21年度から従来の積み上げ査定方式から施策別の枠配分方式へ移行させました。

質疑では、市民への公表はどのようにしているかという質疑に対し、ホームページに掲載しているが、閲覧できない市民が大勢いるため、今後

小山市立車屋美術館

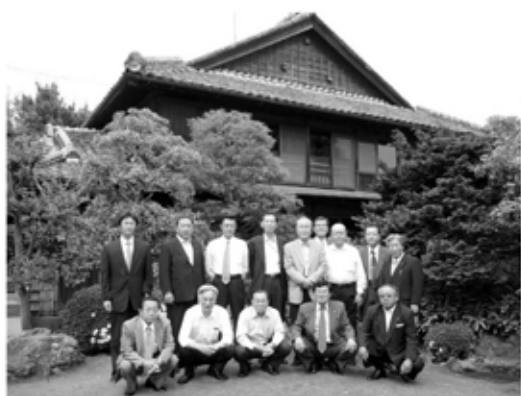
栃木県小山市

車屋美術館では、松本副館長の案内により、小川家所有の美術品及び小川家住宅内を研修しました。

小川家は、明治末期肥料問屋として栄え小山市の豪商でした。現在の母屋は明治45年に建築され、平成19年に国の登録有形文化財に登録されています。

今回、本町所在の国登録有形文化財である「赤松館」と同時に建築され、どのような

必要があると認識したところ



研修を受ける議員団

今後の町づくりを考える上で有意義な研修でした。

一般質問

- ◎西回り自動車道芦北インターへのアクセス道路の整備について
- ◎主要道路（県道）の拡幅整備への対応について
- ◎総合型地域スポーツクラブと教育委員会の関係について



平松洋一議員

西回り自動車道芦北インターへのアクセス道路の整備について

本町道路交通の基幹となる西回り自動車道芦北インターへのアクセス道路の整備が当面の課題の一つである。特にインターから湯浦方面へのアクセス道路の整備の計画はないのか。

答 町長

現在、湯浦地区の国道3号線へは3路線あり、県道宮崎芦北線、町道外ヶ平湯治線については既に改良工事を進め



整備された町道外ヶ平湯治線

ており、町道田川瀬戸線については橋梁拡幅の実施計画を終わり、あわせて本年度引き続き集落内の測量及び実施計画を行う手順である。

主要道路（県道）の拡幅整備への対応について

質

町内の県道の整備の必要性が叫ばれながら遅々として進まない。その中で次の3路線①県道球磨田浦線②県道二見田浦線③県道芦北坂本線の早急な整備を地域住民は強く望んでいる。

町長はこれまで県当局にそれぞれどのような具体的要請をしてきたのか。

答 町長

毎年7月開催の水俣・芦北地域振興推進委員会、並びに芦北地域振興局管内主要事業説明会及び意見交換において、3路線とも早期完成に向け積極的な強い要望を行っており、

また関係省庁及び県選出国会議員への要望活動を展開した結果、増額予算を確保するなどその成果は出ている。

質

現時点における3路線の整備の見通しはどうか。

答 町長

年次計画により着実に振興が図られているが、八代市に連結する路線については引き続き八代振興局、八代市地元期成会と連携を密にし、事業推進に向け粘り強い要望活動を展開して行く。

総合型地域スポーツクラブと教育委員会の関係について

質

去る4月8日付の新聞各社が総合型地域スポーツクラブ関係の白バス運行事件について報じた。

町教育委員会としてこのバス運行についてどのような関与

をしてきたのか。

答 教育委員長

何ら関係もなく、関与もしていない。

質

この事件発生前に教育委員会として指導できなかったのか。

答 教育委員長

事前に把握できる状況になく、従って事前指導は行っていない。

質

現在のクラブ会員等の送迎はどうしているのか。

答 教育委員長

保護者の自家用車により送迎している。

議会のうごき

- 4月 1日 芦北観光うたせ船及び一本釣り遊漁船船出式
16日 町有林安全祈願
17日 第1回正副会長会議
19日 ファーマーズマーケット落成式
29日 南九州西回り自動車道芦北インター開通式典
- 5月 1日 水俣病犠牲者慰霊式典
11日 南九州西回り自動車道熊本県建設期成会総会
14日 熊本県町村議会議長研修会・第1回理事会
18日 第34回全国町村議会議長・副議長研修会(20日まで)
21日 議会運営委員会
23日 御立岬ビーチサッカーフェスティバル2009大会
26日 第3回臨時会、自酒初荷式
27日 議員視察研修(29日まで)
- 6月 3日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
4日 全員協議会
10日 議会運営委員会
12日 熊本県町村議会議長会臨時総会
16日 議会定例会(一般質問)
17日 議会定例会(議案審議)
19日 芦北水俣広域営農団地整備事業推進協議会定期総会
中山間地域総合整備事業推進協議会定期総会
26日 芦北漁業協同組合通常総会
- 7月 6日 南九州西回り自動車道建設促進期成会役員会
7日 広報特別委員会
15日 町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会
22日 南九州西回り自動車道熊本県建設促進期成会
要望活動
30日 関係省庁に対する前期要望活動



宮島 安議員は、去る6月12日入院先の水俣市立総合医療センターで逝去されました。73歳でした。合併後に行われた平成18年の厳しい選挙において芦北町議会議員として初当選されました。議会活動においては、総務常任委員会と議会広報特

故宮島安議員

を悼む



別委員会に所属されておりました。今年5月の臨時会に出席され、意欲を見せておられましたが、突然の訃報に、驚きと悲しみのあまり言葉もありませんでした。温厚にして篤実な人柄は、関係者はもちろんのこと、同志議員の信望も厚く、皆さんから大きな期待が寄せられ、嘱望されておられました。ここに永遠の別れをしなければならぬことは、誠に無常で偲びがたく、痛恨の極みであります。

議会議長 藤井公明

これまでの議会活動の中で、毅然として常に町民のため、骨身惜しまず、町政発展に熱意を傾けてこられた姿は、生涯皆さんの胸に生きつづけることでありましよう。在りし日を偲び、哀惜に堪えませんが、議員一同及ばずながら、あなたが公共の福祉に献身された尊いご遺志を受け継いで、町政発展のため、議会の使命を果たすことをお誓い申し上げ、ひたすらご冥福をお祈り致します。

編集後記

先日、わたしの住んでいる地区で3地区合同の福祉推進委員、老人会、たつしやか会による交流会が開催されました。

午前中は、わたし達が日頃体験できない「たつしやか会」の転倒骨折予防教室があり、社会福祉協議会予防推進課の職員の方々による寸劇を交えた楽しい講習会に、会場は笑い声の絶えない状況でした。また、午後からの昼食を兼ねた懇談会でも、楽しい踊りで会場を沸かせてくれた社会福祉協議会の方々ですが、高齢者の認知症予防や健康増進のために、毎月、町内85行政区全てを巡回されていると聞いて、ただただ頭の下がる思いでした。

参加者の笑い声が心に残る一日になりました。

元山



議会広報特別委員会

委員長	元山秀志
副委員長	前田徹一
委員	宮内道則
委員	古村逸男
委員	白坂康浩
委員	宮尾秀行